

平成30年国立市議会第2回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第2回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

ただいま全国市議会議長会から永年勤続議員として表彰をお受けになられました青木健議員並びに石井伸之議員、大和議長の永年のご功績に対し、敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

さて、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザの開設についてですが、市民の利便性向上及び交流の促進を図るとともに、広域連携の新たな取り組みとして、国分寺市との共同施設「国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ」を5月14日に開設しました。当日は、議員の皆様をはじめ、両市の関係者約80名のご参加をいただき開設式を行いました。

また、5月20日には、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザの敷地内において国立産野菜の直売会を実施しました。約200名の方にお越しいただき、盛況のうちに直売会を終えることができました。

利用しやすく、親しみを抱かれる施設の運営に努めてまい

ります。

それでは、3月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

くにたち文学賞についてですが、全国から890作品ものご応募をいただき、一般の部と小中学生の部の最終選考を行い、3月に入選作品を決定いたしました。また、多くの方に、ことばの表現や解釈の自由を体感し、日常の連続にこそ存在する平和を感じていただきたく、入選作品を作品集として刊行しました。

次に、TOKYOレインボープライド2018についてですが、5月5日から6日にかけて代々木公園にて開催されたイベントに国立市として初めてブース出展を行いました。当日は、「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」の周知を行い、2日間で約800名の方にご来場いただきました。アンケートを通じていただいたご意見を参考に施策を推進してまいります。

次に、都市間交流事業についてですが、5月23日に職員が北秋田市を訪問し、具体的な交流事業に関する協議を行いました。また、ルッカ市との交流に向けた機運醸成を図るため、3月25日には日伊櫻の会と連携して美術をテーマとした「ルッカを知る研究会」を開催し、約80名の方にご来場いただきました。

なお、詳細につきましては、本定例会中の総務文教委員会に報告させていただきます。

次に、行政管理部関係です。

建物収去土地明渡請求事件の取下げについてですが、平成28年（2016年）6月16日に提起された、富士見台地域防災センターの敷地に関する建物収去土地明渡請求事件は、原告が訴えを取下げたことにより、平成30年（2018年）3月29日に終了しました。

次に、消防団第三分団の消防ポンプ車についてですが、3月8日に新車両が納車され、第三分団に配備しました。今後とも、火災をはじめとする災害に対して、迅速で効果的に対応できるものと考えております。

次に、健康福祉部関係です。

健康づくり推進員の活動についてですが、毎月開催する定例会での学習や自らの実践を通じて得られた健康に関する知識を友人や地域の方々に伝え、地域のつながりやヘルスアップに貢献するという役割を担っていただいています。

4月8日に開催された「さくらフェスティバル」においては、「くにたちオリジナル体操」の普及・啓発のため舞台発表を行い、観客の皆様と一緒に体操を行いました。

また、6月3日に行われた旭通りにおける「ジューンフェスタ2018」においては、市の保健師とともにボランティアスタッフとして参加していただき、「禁煙キャンペーン」「血管年齢測定」「いきいき百歳体操」などの事業を展開しました。

今後も、様々な機会をとらえ、市民の皆様と力を合わせて健康づくりに取り組んでまいります。

次に、生活保護業務についてですが、今般、生活保護業務に係る事務が適正に処理されていなかったことにより、被保護者への生活保護費の支給誤りが生じていることが判明しました。現在、発生原因や対象件数等について調査を進めているところですが、当面の対応としまして、チェック体制の強化、事務処理手順の改善等を行っているところでございます。

なお、現時点での状況につきまして、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、子ども家庭部関係です。

学童保育所における受け入れ学年の拡大についてですが、4月より、本町・東・北・南の4学童保育所において4～6年生の受け入れを開始しました。各学童とも4～6年生の利用者数は10人から20人程度となっており、本町学童は増築した施設を使用し、東・北・南学童については、小学校の特別教室をお借りして実施しております。

残る3学童保育所においても平成31年（2019年）4月の受け入れ開始に向け、準備を進めてまいります。

次に、待機児童対策の取組についてですが、地域住民の皆様のご理解、ご協力をいただき、「国立たいよう保育園」が4月に開園しました。入園した子どもたちが元気に登園しています。

平成30年（2018年）4月1日現在の待機児童数は、旧定義で81人となり、平成29年（2017年）の125人から大きく減少しましたが、依然として解消には至っておりません。現在、さらなる定員の拡大を図るため、認可保育所2園の新設及び

認証保育所1園の認可化を進めております。

なお、詳細につきましては、本定例会中の福祉保険委員会に報告させていただきます。

次に、幼稚園フェアについてですが、未就学児童保護者に対する幼児教育への理解と入園希望者の拡大を目的として、市内の私立幼稚園、認定こども園などが一堂に会して、5月26日に市役所において実施しました。当日は、約180世帯、総数300名を超えるご参加をいただきました。各幼稚園等においては、パネルによる写真展示やパンフレットなどを活用して教育方針や取組みを紹介するとともに、保護者の方々の様々な質問にお答えいただきました。また、入園手続きの方法や保護者負担軽減補助金等の入園に関する情報提供を行い、入園申込に向けて良い機会となったとの声をいただきました。

次に、生活環境部関係です。

第41回さくらフェスティバルについてですが、谷保第三公園において、4月7日から8日にかけて開催されました。会場では、はしご車の試乗体験やミニS Lなど各種団体による出店・企画のほか、特設舞台では市内ダンスチームによる演技や和太鼓などが披露され、延べ約1万人の来場者がありまし

た。

次に、フィルムコミッション事業についてですが、国立市がメインロケ地となった映画「四月の永い夢」の公開記念として、中川龍太郎監督と映画に出演された国立市在住の女優高橋恵子さんの表敬訪問を受けました。国立市観光まちづくり協会から発行されたロケ地マップを活用しつつ、今後とも積極的に市をPRしてまいります。

次に、LINKくにたち2018についてですが、5月13日に、大学通りでスポーツ参加・体験イベントとして、3時間耐久リレーマラソンやわんぱく相撲、東京都多摩障害者スポーツセンター及び国立市体育協会による各種競技の体験コーナーなどが催されました。

また、特設舞台では東京女子体育大学・東京女子体育短期大学及び市内ダンスチームによる演技披露や、国立音楽大学附属中学校・高等学校のブラスバンド部及び合唱部による合奏・合唱の披露なども行われました。

商工会青年部の企画による市内商店の出店ゾーンなどもあり、途中雨に見舞われましたが、市民の方はもとより市外からも多くの方が訪れ、約7千人の来場者がありました。

次に、起業プランサポート事業についてですが、国立市起業プランサポート会議からの助言を踏まえ、平成30年（2018年）3月に新たに1事業者に対して補助対象事業の認定を行いました。

次に、外国籍市民と市職員との懇談会についてですが、3月10日に外国籍市民と市職員とで「国立市の職員に聞きたいこと・伝えたいこと」をテーマに懇談会を行いました。当日は23名のご参加をいただき、生活上の困りごとなど多くのご意見をいただきました。

次に、青柳中央会集会所の落成についてですが、認可地縁団体である青柳中央会の集会所が3月に完成し、4月22日に「青柳中央会館落成記念式典」が開催されました。

次に、里山フェスタについてですが、3月4日に里人会議の企画のもと、城山の自然を知り学び、そして思いきり遊んで楽しめるイベントとして開催しました。

当日は天候にも恵まれ、ホウレンソウの収穫体験や七草摘みの体験及びお粥づくりなど、自然に触れ合う様々なイベン

トに、多くの家族連れにご参加いただき、春の訪れを感じる1日を楽しんでいただきました。

次に、「ごみの出し方・減らし方について」の市民説明会についてですが、5月14日から27日までの間、市内の公共施設において市民説明会を開催しました。説明会では、平成29年（2017年）9月より実施した家庭ごみ有料化にあわせて変更したごみの分別や収集日等について改めて周知するとともに、市の目指す循環型社会の構築に向け、EPRにつながる販売店回収等について説明しました。

次に、都市整備部関係です。

中央線高架下自転車駐車場についてですが、4月1日から定期利用を一律500円に、一時利用を最初の2時間無料に利用料を改訂しました。5月14日時点で定期利用登録者数は632人となり、3月末時点と比べ、約220人増加しています。さらなる利用率の向上に向け、引き続きPRを行ってまいります。

次に、さくら通りの改修工事についてですが、平成28年度（2016年度）から改修を実施していた区間の工事が平成30年（2018年）3月に完了しました。これにより富士見台1丁

目から2丁目までの約1キロメートルの自転車道がつながり、歩道のバリアフリー化とあわせ、快適で安全な道路空間を作ることができました。今後も引き続き整備を進め、安心安全なまちづくりに努めてまいります。

次に、教育委員会関係です。

特別支援教室の開室についてですが、平成29年度（2017年度）に小学校2校で先行実施しておりましたが、平成30年（2018年）4月より全ての市立小学校で開室いたしました。このことにより、これまで特別な支援を受けるために学校間を移動していた児童が、場所を替えることなく、自校において支援を受けられるようになりました。

次に、平成30年第1回定例会にて採択された「東京都多摩障害者スポーツセンターの一時休止の間の代替措置に関する陳情」への対応についてですが、3月27日から障害者手帳または東京都多摩障害者スポーツセンター利用証をお持ちの方に対し、くにたち市民総合体育館において「スマイルカード」を発行し、東京都多摩障害者スポーツセンターの運営が再開するまでの間、総合体育館の個人利用の利用料金を減免しております。5月31日までに136人の方に「スマイルカー

ド」を発行し、延べ739人の方にご利用いただきました。

終わりに、本定例会には、平成30年度国立市一般会計補正予算案等12議案、報告事項3件を提出させていただいておりますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げ、行政報告といたします。

平成30年（2018年）6月6日

国立市長 永見 理夫